



平成27年度 事業報告

自主事業「美ら島自然の学び舎」

自主事業「美ら島自然の学び舎」を7月18日(土)～20日(月)の二泊三日で開催し、県内の小中学生10人が参加しました。この事業は、三日間の親元を離れて生活しながら、沖縄美ら島財団の海や川の専門家の講師とともに野外炊飯や野外活動をし、その活動を通して自然環境を学習する事業です。



干潟にてフィールドワーク

夜は、国頭に移動し、ウミガメの生息環境を観察しました。産卵方法や産卵場所などを現地にて学ぶことは、とても良い機会になったのではないのでしょうか。



学びの成果をポスターセッションにて発表

〈担当・神谷より〉

昨年同様、大浦湾干潟と国頭村の海岸で観察会を行い、大浦湾ではカニやトビハゼを、国頭村ではヘビがウミガメの卵を捕食しているシーンを確認することができました。普段は見れない野生の姿を見ることができて、とても良かったと思います。

日中は、干潟に住む生き物について勉強した後、実際に干潟に行きフィールドワークを行いました。シオマネキ等の生き物を実際に観察し、子ども達からは多くの質問が上がりました。



夜の海 アカマタを発見

最終日は、学びの成果を新聞にまとめて発表しました。参加者からは、「分りやすい説明の後、産卵した場所を見ることができて良かった」「知らないことを知ることができ、沖縄の海はすごく大切だと改めて思う」との声が聞けました。